

# CREATE MINI

ミニスペシャルショップの一押しカスタムミニをフューチャー [クリエイトミニ]



カントリーマンのボンネットを開けると、オリジナルの850ccではなく'97年式以降モデルの同時点火式インジェクションエンジンが現れる。違和感なくキッチリ納まっているところに、高い技術力を感じる。



長モノミニに高年式インジェクションエンジンを換装  
'60sの雰囲気を感じながら気兼ねなく走る楽しみ  
AUSTIN COUNTRYMAN×INJECTION



エンジンを換装するだけでなく、内外装もきっちりレストアするのがインベリアルクラフト大阪。インジェクションなら、カーナビもクーラーも問題なく使えるのだ。



## 当時の遊びグルマを現代でフルに楽しむなら、エンジン近代化という選択もあり

みなさんご存じのとおり、カントリーマンやトラベラーといったいわゆる「長モノミニ」は、'60年代に造られたミニのエステートモデルだ。オールドミニゆえに、とかくビンテージ的な価値で語られがちな長モノミニだが、先述したとおりこのクルマはエステート、すなわちレジャービークルということ。ならその実用性を使い倒して、遊び倒してこそ価値があるのでは、という考えもある。とはいえ、オリジナルの長モノミニはやはり'60年代に造られたクルマ。メンテナンスにも操作法にも気を使う。ましてやMkIのカントリーマン／トラベラーのエンジ

ンは850cc。軽自動車でも100km/hが当たり前の現代の道路状況のもとで、ラゲッジいっぱい遊び道具を積んで走らせるにはつらいものがある。もちろんエアコンなどあるわけがない。後付けもNGだ。もっと気軽に、レジャービークルとして長モノを楽しみたい。そんなアクティブなユーザーのため、大阪府の「インベリアルクラフト大阪」では長モノにインジェクションエンジンを換装する「インジェクションプロジェクト」というモディファイを提案している。高年式の1.3リッターインジェクションエンジンを組み込むことにより、そのパ

ワーと信頼性、そしてクーラーも使える快適性が得られるといううれしいシステムだ。

オールドミニのレストアと、年式や車種を問わないミニの整備とチューニングを得意とするインベリアルクラフト大阪。オールドミニたるカントリーマンに実用性と信頼性だけでなく、新車同様のクオリティをも与えてくれるのだ。旅好きアウトドア好きのミニ乗りなら「長モノに乗ってキャンプに行きたい、日本中を旅したい」と一度は夢見たことがあるはず。インジェクションプロジェクトはそれを現実にしてくれる、長モノミニの新たな活用方法なのだ。